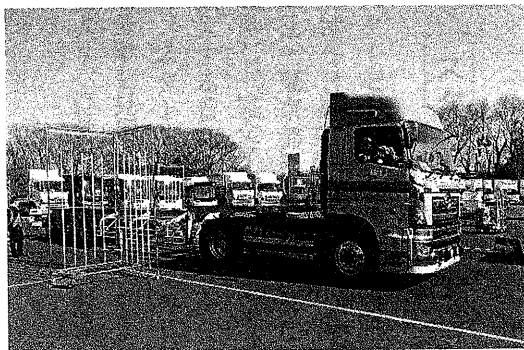


「難しい」と言われる左のバックも実技で学ぶ



左のバックについても学ぶ

広域運送事業協同組合(広運協、樋口恵一理事長)は8日、日野自動車羽村工場(東京都羽村市)で第15回ドライバー安全運転研修会を開

催した。今回はトレーラを中心とした内容で、高取ロジステイクスの高取亮取締役営業部長(広運協安全研修委員)と東京日野自動車および日野自動車お客様センター室の協力を得て実現したものの。海上コンテナ輸送やトレーラ輸送に携わる6社(川崎陸送、関東トネックス、東新トレーラトエクスプレス、ロジパルエクスプレス、山梨総合運輸、舟津産業)から15人が参加した。

今年度の3回目となるドライバー安全運転研修会で、東新トレーラエキスプレスおよび日野自動車の提供により海上コンテナ用のトレーラ(40ft3軸タイプ)2両を用意。午前中は、内輪差をはじめとしたトレーラの特性や安全運転の注意点、意識面や心理面について座学を実施したほか、大型トラックの死角、トレーラの連結切り離し操作のポイントを学んだ。午後は15人を3つのグループに分けて安全運転実技を行った。左折、右折、コー

ンで挟まれた狭隘路、左のバックなどを盛り込んだコースを設定し、日野自動車お客様センター室のインストラクターが助手席に乗って指導。チェック表に基づく日常点検、広運協独自の安全小テスト(交通法規、構造・機能、運転常識)も行った。

また、衝突を事前に察知し、衝突被害を軽減する「ブリクラッシュセーフティシステム」、オーバースピードでコーナーに侵入したり、急激なハンドル操作などによって車両姿勢が乱れた際に、横滑りを防ぎ、優れた走行安定性を発揮する「ビークル・スタビリティ・コントロール」といった安全装置シミュレーション体験も行われた。

トレーラを中心とした研修会はかねてから組合員の要望が多かったもので、参加者からは「トレーラの研修機会は少なく、参加できてよかった」、「普段は海上コンテナトレーラを運転していない



6社から15人が参加

が、体験できてよかった」、「トレーラの左のバックは難しいと言われる。研修ですべてよかった」といった感想が寄せられた。